



# せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号

&lt;TEL&gt;781-2446・2447 &lt;FAX&gt;701-4892

&lt;MAIL&gt; y3segasa@edu.city.yokohama.jp

<HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

## 瀬小の宝物「アスレの森の環境整備」

～ 瀬小応援団のパワー全開 ～

学校長 大塚 ちあり

11月22日日曜日。曇り空。

午前9時～11時までの2時間、六浦東連合町内会協賛でアスレの森の環境整備が行われました。早いもので、創立60周年記念事業の一つとして、前年の平成25年11月にスタートしたこの取組も、地域の皆様のお力を頂いて3年目を迎えました。

朝9時前には続々と地域の方々や子どもたち保護者の方々がお見えになり、アスレの森の入り口はたくさんの方々で一杯になりました。六浦東各町内会自治会や柳町の方々、学援隊、スポーツ推進委員、青少年指導員、各消防団の方々、関東学院大学の准教授と学生の方々、金沢区役所の方や学校開放利用団体の瀬ヶ崎フレンズ（ソフト）、FC瀬ヶ崎（サッカー）、R・Gサークル（新体操）等の方々、保護者や子どもたち、瀬小職員など総勢160名を超える大応援団が集合してくださいました。中には「私たちは親子三代瀬ヶ崎小です。みんなでやってきましたよ。」とお声をかけてくださったご家族や、「自分は第三期卒業生で、この森を駆け回って遊んだものです。」など、久方ぶりの瀬小を懐かしむ方々が何人もいらっしゃいました。アスレの森が瀬小で育つ子どもたちにとっていかに大切な森であるかを、改めて感じさせられました。

環境整備は2つのコースを選んでいただきました。本校の学校教育目標になぞらえて、「やさしさいっぱいコース（主に平坦なコース）」「友だちいっぱいコース（主にアスレの森の急斜面と展望台付近）」の2コース。また、活動の中頃では「みんな生き生き瀬ヶ崎っ子タイム」と称して、温かいお茶と常温のお茶に一口おやつで一息つけるタイムをPTA役員の方々が用意してくださいました。

六浦東連合町内会の岩崎会長とPTA山岸会長のご挨拶を頂いて、いよいよアスレの森の環境整備が始まりました。大きい倒木を切り分けて崖の中腹から下す人や、枝や太いつるを切り落とす人、まとめて運び出す人、側溝の重い泥を掻き出す人など、大人も子どもも、あちらこちらで「それ、運びます」とか「ありがとう」とか「なるほどいいですね。」など、温かい言葉のキャッチボールが飛び交っていました。大きなミミズが側溝からたくさん見つかった時は、歓声をあげる子どもたちもいて、釣りの餌にするとせせせと集める子、熊手のような枝を見つけて落ち葉をかき集める子、重い泥運びを買って出て感謝される子など、子どもたちもそれぞれに大活躍でした。今年は、初めて線路側の側溝清掃もお願いしたところ、詰まっていた泥の量がよほど多くて、優しさちょっぴりコースになってしまいました。今後検討していきます。

地域の方々や保護者の方々の連携力とパワーは実に素晴らしく、事前に地域の方とアスレの森の下見をして、100人いらしてくださったとしても、おそらく2時間では終わらないほどの仕事量に溜息がでたのですが、予想を遥かに超える160名の大応援団のお力と温かい声の掛け合いで見事な連携プレーが生まれ、みるみるうちに美しいアスレの森に変わっていったのは、感動でした。文化スポーツクラブの佐藤事務局長のご挨拶を頂いたときに、皆さんから温かい大きな拍手が湧きました。160名の方々がともに汗して、力を出し合ったからこそ満足感を皆さんで共有できたそんな素敵な拍手に思えました。

瀬小の宝物の一つに「大好きなアスレの森」と書いてくれた子どもたちがたくさんいました。その瀬小の宝物を、地域や保護者の方々と子どもたちと瀬小職員みんなでもっともっと素敵な宝物にすることができましたことに、心から感謝申し上げます。今後も、この瀬小の宝物を地域の皆様と共に大切に、やがて地域の宝物になってほしいと願っています。